



地域とともに～体験をとおして豊かな心に～

5月の運動会が終わると、西川小学校では各学年で地域の方と連携した活動が盛んになります。特に、季節が関係する取り組みは、この時期にしかできないことと言えます。学校だけの力では難しいことやできないことも、地域の方のご協力のおかげで可能になることが、西川には数多くあります。そのような環境で様々な活動を体験できることは、子どもたちの心を育む上で貴重な財産となっています。幼少時の豊かな体験は、その後の生き方にも大きな影響を与えていると言われています。デジタル化が急速に進んでいる今だからこそ、体験の価値をこれまで以上に大切にして教育活動を展開していきたいと思います。



どきどきの田植え体験

5月29日(木)、5年生が田植え体験にチャレンジしました。今年も海味の川井大輔さんにご協力いただき、昔ながらの「手植え」を行いました。初めて泥の中に足を入れる子も多く、田んぼに着いたときからどきどきの様子でした。子どもたちは、川井さんから植え方を教えていただいた後、一列になり丁寧に苗を植えていきました。

その後、川井さんのご厚意で、希望者は田植え機の運転体験もさせていただきました。どきどきした表情で颯爽と乗り込み、ハンドルを握ると真剣な眼差しに変わりました。川井さんに補助していただきながらゆっくり進むと、想像した以上に真すぐに苗が植えられていきました。植え終えた子の顔には、笑顔とほっとした表情が広がりました。

秋には育ったお米を刈り取り、収穫感謝祭で使わせていただく予定です。



大きくなって戻ってきてね ～サクラマス放流～



6月5日(木)、最上川第二漁業組合の方のご協力のもと、6年生と5年生が学校そばの寒河江川においてサクラマスの放流を行いました。

今年放流したのは「幼魚」のため、バケツの中で勢いよく泳ぎ、外にとび出す魚が続出しました。その度に子どもたちはびっくりした声を上げ、四苦八苦しながら魚をバケツに戻していました。

この後、子どもたちは一匹ずつ丁寧に放流し、「大きくなって戻ってきてね」とやさしく声をかけていました。今後は、今日の放流体験を通じて、社会科での漁業の学習、理科での命の誕生につなげていきたいと考えています。



人権の花で心も色鮮やかに



6月5日(木)、3年生が人権擁護委員の皆さんと花の植栽を行いました。今回植える花の種類は、マリーゴールド、ニチニチソウ、ベゴニア、ナデシコ、コリウスの5種類。ビニールポットから花を丁寧に取り出すと、委員の皆さんに手伝ってもらいながら大事そうに植えていきました。

人権の花運動は、子どもたちが協力して花を育てることによって生命の尊さを実感し、豊かな心、やさしさと思いやりの心を育むことを目的としています。花は、子どもたちの生活に彩を加えてくれます。今年も、「人権の花」をきっかけに子どもたちの心も色鮮やかに成長してほしいと願っています。

体ストレッチワンポイントアドバイス②

皆さんの未来の健康は、「今」の積み重ねで大きく変わります。自分の体は自分でととのえ、様々なことにチャレンジできる健康でたくましい体をつくっていきましょう！

★背中の筋力を動かして、猫背予防！ ～10回くり返し。できれば2セット！～



腕をしっかり伸ばして、バンザイをします。



上から何かをひっぱるようにして、肘をしっかり引き下げ、肩甲骨を寄せましょう。

●注意点

体に痛みを感じたときは、運動を中止しましょう。

動きに制限がある方は、できる範囲で運動しましょう。

山形済生病院 健康増進センターめぐみ
健康運動指導士 伊藤 貢